

平成 17 年 3 月 28 日

新タワー誘致推進協議会 殿

日本放送協会
日本テレビ放送網(株)
(株)東京放送
(株)フジテレビジョン
(株)テレビ朝日
(株)テレビ東京

新タワー候補地のご提案に対する検討結果について

NHK、日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京の在京テレビ局 6 社は、「在京 6 社新タワー推進プロジェクト」(以下、プロジェクト)を発足させ、首都圏において 21 世紀のデジタル放送時代に対応する新たな電波塔について、現行の東京タワーと同様、借用させていただく立場から、鋭意、検討を進めてまいりました。

このプロジェクトの発足を受けて、新タワー建設に関するご提案を公式・非公式を含め首都圏各地の 15 の地域からいただきました。いずれも熱意にあふれたご提案であり、各地域の関係者のご尽力に、改めて御礼申し上げます。

貴殿からご提案のありました新タワー候補地について、NHK 及び在京民放 5 社で慎重に検討した結果、以下のとおり、回答させていただきます。

<検討経緯>

プロジェクトではいただいたご提案について 2 つの面から検討を続けて参りました。

ひとつは、デジタル波のカバーエリア、特に携帯端末での受信可能エリアの拡大状況やビル陰障害対策などについて、名城大学・都竹愛一郎教授の監修のもと、放送事業者として技術的な検証を行って参りました。また、「都市計画」「建築構造」「防災」「環境」「景観」「観光」「社会的合意」等、多角的な視点で専門家のご意見をいただくため、東京工業大学の中村良夫名誉教授を委員長とする「新タワー候補地に関する有識者検討委員会」(以下、有識者委員会)を組織し、各提案の詳細検討と比較考量を諮問しました。

その結果、このたび有識者委員会から有意な答申をいただくと同時に、技術検証においても一定の結論を得るに至りました。

<検討結果>

1 新タワー候補地の選定結果について

本日現在、電波技術上の条件や立地条件等を総合的に考慮した場合、いずれの候補地も電波技術面でいくつかの検討課題を残しているとともに、有識者委員会の選定基準を全て満足するご提案はありませんでした。

しかしながら、相対的に諸問題を最小限に押さうる可能性のある場所として、有識者委員会の多数の意見を受け、

「墨田・台東エリア（建設候補地として墨田区業平橋・押上地区）」

を候補地として協議させていただくこととしました。

このエリアは、これまでの技術検証において優位にあると同時に、立地条件（場所のポテンシャル）の点で他の地域に比べ優位にあると判断された有識者委員会の答申に基づくものです。

同エリアは現在、航空法の高度制限がありますが、今年2月2日に国土交通省のパブリックコメントが発表され、当該エリアは緩和対象となっており、国土交通省の4月の最終決定において航空法の緩和が認められることを前提としています。

また、このエリアにおける新タワーの建設・運営については、有識者委員会の答申の中で、

- ① 隅田川をはさんだ台東・墨田両区の市民・行政が一体となった、観光や様々なまちづくり活動の支援・推進が図られること
 - ② 地元住民の受け入れがあること
 - ③ 都市防災に関するさらなる行政支援がなされること
- が条件とされています。

さらに、有識者委員会では、東京の震災時のバックアップ機能等を考え、都心から離れたご提案を推薦する複数委員の意見があったことを受け、

「さいたま新都心」

については、難視対策等技術的な検討を踏まえた上で、もう一つの候補地とし

て協議させていただくこととしました。

2. 現行東京タワーとの比較考量～電波技術的検証の継続～

新タワー候補地選定については、本日現在、上記のような選定結果となりましたが、在京6社では技術的検討において、電波技術面でいくつかの検証課題を残しています。

残課題は、①携帯端末向け放送を補完するためのギャップ・フィルターの設備と運用規模、②SFN（同一周波数ネットワーク）混信障害の発生規模と対策ならびに費用総額です。在京6社では、これらの残課題について現行・東京タワーと比較考量の上、鋭意、検討を進めていきたいと考えています。